



# 2025 共同 × 協働

ともに学び高めあえる  
教員を目指して

## 共同教育学部



国立大学法人 宇都宮大学共同教育学部  
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

共同教育学部  
ウェブサイト

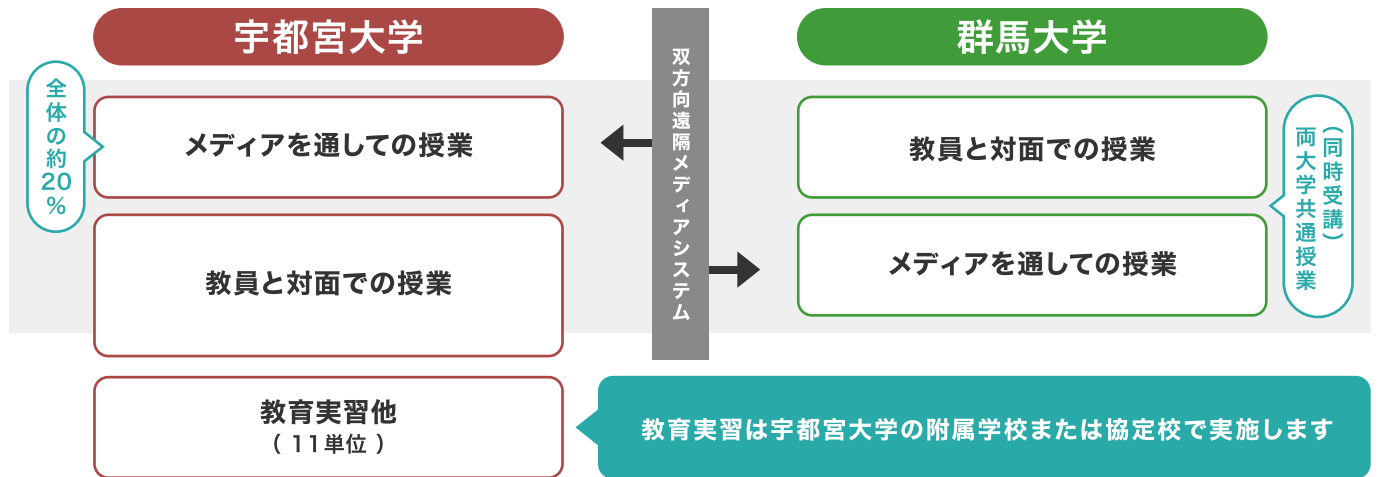
TEL **028-649-5242**  
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp>





# 共同教育学部ってこんなところ

本学部は4系13分野で構成されています。一部の授業は双方向遠隔メディアシステムを使って群馬大学と共同で行います。小・中・高等学校及び特別支援学校、幼稚園の教員免許を取得するためのプログラムを備えており、小学校一種免許状、及び所属分野の教科を主とした中学校・高等学校一種免許状を取得可能です。共同教育学部ではこのプログラムで「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士(教育学)」の学位を授与します。



## 「専門分野」「分野混合クラス」での学び

**専門分野** 13分野のいずれかに所属

各分野の教員によるきめ細やかな指導

専門分野について深い知識が得られます。

卒業研究の際には指導教員から個別指導を受けられます。

**専門的な指導と豊富な実習体験**

専門科目の授業や附属学校園での教育実習では同じ分野の学生と切磋琢磨しながら学びます。

**分野混合クラス** 12クラスのいずれかに所属

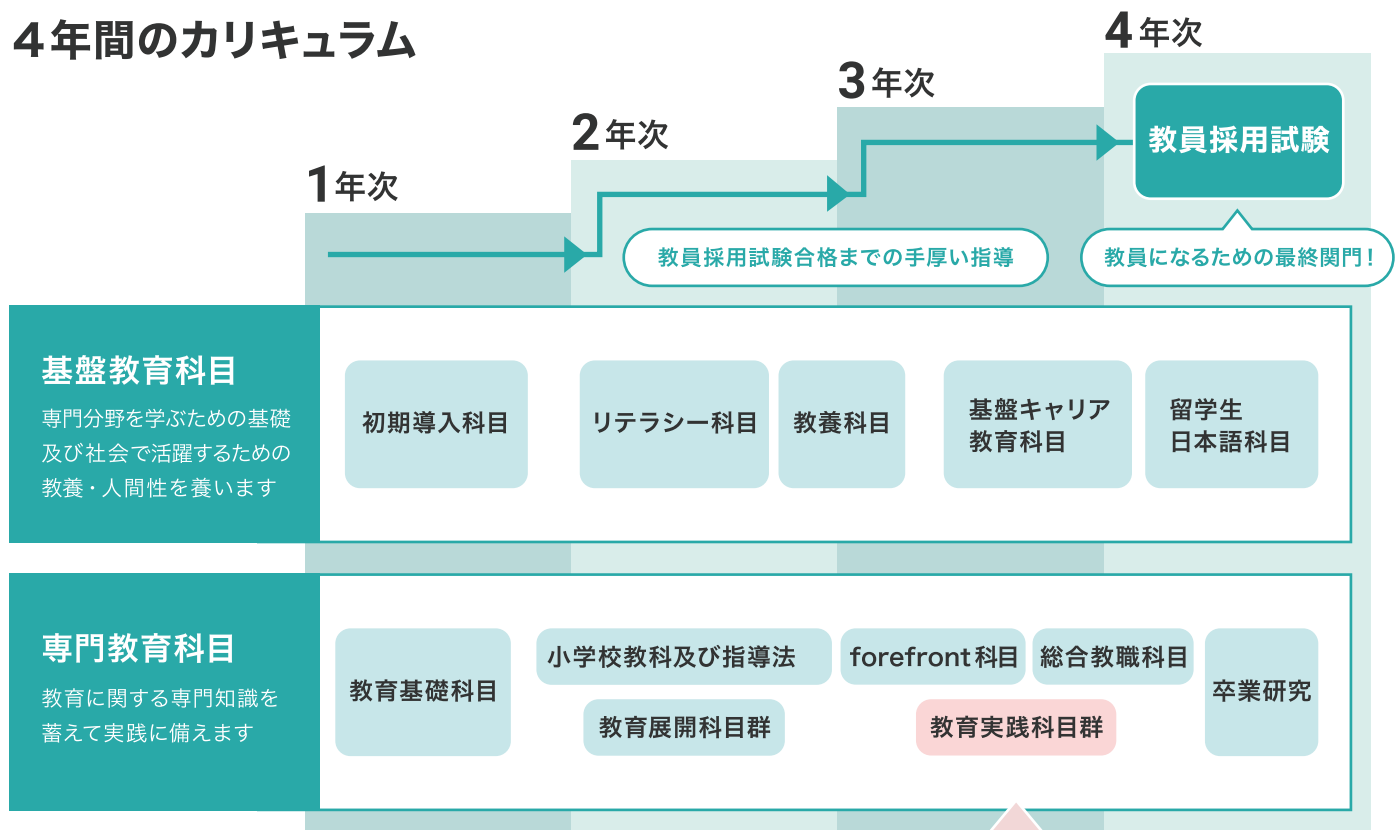
担任教員が学生生活をサポート

クラスごとに付く担任教員により、4年間を通じた指導を受けられます。

**他の分野の学生たちと学ぶ**

様々な分野の学生と一緒に授業を受け、グループ活動を行うなど、より多くの人との交流を通して、社会性を育みます。  
※群馬大学の学生との共同の活動もあります(変更の可能性あり)。

# 教員になるまで 4年間のカリキュラム



## 教育実践科目群

### 教職ボランティア入門

小学校で授業や生活指導（給食・清掃）のお手伝いをし、「学校で働く」体験をします。

### 教育実習Ⅰ・Ⅱ

附属学校園で3週間の実習を行います。実際に生徒の前で授業をします。

### 教育実習Ⅲ

公立小学校・中学校で実習を行い、教育現場の理解を深めます。

### 教職実践科目

これまでの学びの集大成として、模擬授業を行います。

+ 特別支援学校教育実習(特別支援学校免許取得希望者のみ)

## 就職支援室

就職支援室では、常時、進路・教員採用試験に関する相談を受け付けています。県内の学校の校長経験者が親身にアドバイスします。

### 就職支援室でできること

ベテラン教員による以下の指導を受けることができます。



教員採用試験願書チェック



論作文の指導



個人面接・集団討論・模擬授業の練習



共同教育学部学校教育教員養成課程のアドミッションポリシーには、Iプログラムの概要、II教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性、III求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価を記載しています。

大学ホームページよりご覧いただけます。 <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/policy.php>





## 教育分野

教育のあり方を原理的・総合的に学習します。教育の理念と歴史、学校教育の理念と制度、学校の管理運営、教育の目的・内容・方法の原理、道徳教育、シティズンシップ教育、幼児教育などが主な学習分野です。加えて、中学校教科について、学生の希望に応じてどれか一つの教科の免許を取得するための学習をします。卒業後は、教育的知見を生かした学校教員になることを目指しています。

## 教育心理分野

教育に関する諸課題を心理学の知見から追究します。発達や学習、社会、臨床が主たる学習領域です。また、実証的研究を行うためそれに対応する統計学や研究法などの研究スキルも学びます。意欲ある人には臨床系の実習や演習もあります。加えて、中学校教科について、どれか一つの教科の免許を取得するための学習をします。卒業後は、教育心理学的知見を生かした学校教員になることを目指しています。

## 特別支援教育分野

障害のある幼児・児童・生徒の発達と心理および教育を学び研究することで、個に応じた教育の方法を探求します。卒業要件を満たすことで、小または中学校、特別支援学校（知的・肢体不自由・病弱・視覚障害の4領域）の教員免許状が取得できます。さらに必要な科目を履修することで特別支援学校5領域、幼稚園・高等学校の教員免許状も取得できます。卒業後は、特別支援教育的知見を生かした学校教員になることを目指しています。





学生インタビュー  
教育人間科学系 教育分野 3年生

## 木野内 聖耶さん



教育心理分野・  
特別支援教育分野の  
学生インタビューはこちら  
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



### Q この学部を選んだ理由

宇都宮大学は栃木県唯一の国立大学で地元へ根強く、教員になるための支援も充実していることに魅力を感じました。また、クラス編成が分野混合のため、様々な学びや考えを持った仲間と学び合うことができるのも魅力だと感じ、受験を決めました。

### Q この学部に入ってよかったこと

宇都宮大学と群馬大学の合同授業や活動があることです。共同教育学部であることでより専門的な学習をすることができました。また、群馬大学の学生と授業中に意見交換したり、特別活動を行ったりするなど交流もできることがよかったです。

### Q 大学に入って成長したこと

時間の使い方が上手になったことです。入学当初は授業ごとに出される課題を溜め込んでしまったり、大学からのお知らせを確認するのが遅くなってしまったりすることがありました。それらを時間をうまく使うことで効率的に行うことができるようになりました。

### Q 高校生へのメッセージ

大学では新しい友人や新しい学びなど自分にとって新しいものと多く出会うことができます。その出会いはとても楽しく、自分の成長につながると思います。ぜひ、宇都宮大学で夢に向かってともに頑張りましょう。

### ある日のキャンパスライフ

- 6:20 起床・身支度
- 7:00 通学
- 8:40 授業
- 11:50 昼食
- 12:40 自由時間・課題
- 14:20 授業
- 16:00 自由時間・課題
- 18:00 部活動
- 20:30 帰宅
- 22:00 夕食
- 24:00 就寝







## 国語分野

国語分野では、日本語学・日本文学・漢文学・国語科教育の専門科目を幅広く履修し、小学校・中学校・高等学校の国語科の教員に必要な、知識・技能・態度を身につけることができます。4年次には、専門分野に応じたゼミに所属し、卒業論文の制作を行います。また、文学散歩や卒論発表会など、学年とゼミの枠を超えて、教員と学生が交流する国語分野全体の行事も充実しています。総合的国語力の育成をめざすのが国語分野です。

## 社会分野

社会分野は教育方法や関連専門学問の研究方法を身につけた学校教員を育てることを目的としています。社会科で、児童・生徒は、哲学・歴史学・地理学・社会学・法学などの方法論に準じた、ねばりづよい、簡単に割り切らない学習をするようになります。その際、教師に必要なのが専門学問の研究の経験です。社会分野では、学習指導に必要な経験を社会科教育や専門学問の講義・演習・実習を通して、学生自らが学ぶ指導を行っています。

## 英語分野

英語分野では、英語学・英語文学・英語教育学を学び、小・中・高で英語を教えるのに必要な専門性を身につけることができます。英語分野の授業では、学生同士が協力し合い、切磋琢磨しながら和気あいあいと学習に励んでいます。3年次から4年次にかけて、自身の希望する指導教員のもとで研究テーマを決め、卒業論文の作成に励みます。卒業生は主として小・中・高の教員として活躍しています。





学生インタビュー  
人文社会系 国語分野 3年生

## 横塚 美菜さん



社会分野・英語分野の  
学生インタビューはこちら  
<https://web.edu.utsumiya-u.ac.jp/major-interview/>



### Q この学部を選んだ理由

一つ目の理由は、地元である栃木県の国語の教員になりたかったからです。二つ目の理由は、大学でも国語に関する勉強がしたいと思っていて、さらに栃木県にある大学に行きたいと思ったときに、この学部が一番自分に合っていると思ったからです。

### Q この学部に入って良かったこと

学校教員になるために必要な知識をまんべんなく学べて、さらにそれを生かして教職ボランティアなどで実践できる場が整っていることです。他には、個性がありながらも優しく面白い友人たちに出会えることです。同じ目標をもってともに勉強したり、馬鹿な話もできたりする友人はとても大切で、一生の財産です。

### Q 大学に入って成長したこと

自分の興味のあることを知るために、積極的に行動できるようになったことです。学部の授業で教育と福祉について学ぶ機会があり、それから教育について前よりもさらに興味を持つようになりました。そして、自分から地域貢献のインターンシップに参加し、そこから継続して同じ施設で働いています。

### Q 高校生へメッセージ

自分の興味があることを、とりあえず何でもやってみてほしいです。サークル活動でも、ボランティア活動でも。学部にとられる必要もありません。そうして4年間をすごせば、きっとなにか自分に残るものがあると思います。私もまだまだがむしゃらに生きている途中ですが、是非宇大と一緒に貴重な大学生活を送りましょう。

### ある日のキャンパスライフ

- 7:00 起床
- 8:40 通学
- 12:00 昼食
- 14:00 課題
- 17:00 アルバイト
- 22:00 自由時間
- 24:00 就寝







## 数学分野

数学分野では、算数指導に強い小学校教員や中学校・高校の数学教員をめざします。3年次までは教員として必要な算数・数学の教科の特性に基づいた指導内容・指導方法に関する知識や、学問としての数学の専門知識を学び、4年次には自分の選んだ指導教員のもとで、卒業研究の作成を通して数学や数学教育学についての専門性を高めていきます。

## 理科分野

理科分野では、小学校教員や中学校・高校の理科教員をめざします。3年次までは教員として必要な理科の専門知識、教育者として必要な教科特性に基づいた専門知識を学び、4年次には自分の選んだ指導教員のもとで、卒業研究を通して物理・化学・生物・地学や理科教育学についての専門性を高めていきます。

## 技術分野

技術分野では、中学校教員だけでなく小学校教員や工業高等学校教員をめざします。3年次までは、技術教育を構成する情報工学、加工学、電気工学、機械工学、栽培学等の専門知識、教育者として必要な教科特性に基づいた専門知識を学び、4年次には自分の選んだ指導教員のもとで、卒業研究を通して専門性を高めていきます。





学生インタビュー

自然科学系 技術分野 2年生

島田 洸葵さん



理科分野・数学分野の  
学生インタビューはこちら  
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



## Q この学部を選んだ理由

教師になるために入りました。中学校の免許だけでなく、小学校の免許も同時に取ることができ、講義や実習を通し、将来の職の幅が広がり、自分が最善だと思う選択をすることができると思ったからです。また、この学部には相談できる場所が多くあり、実習で困った時や将来に向けての不安を聞いてくれる先生がおり、不安をすぐに解決することができるからです。

## Q この学部に入ってよかったこと

一年次から分野混合クラスで、他の分野と一緒にのクラスになるため分野以外の学生との交流が多くなり、自然と人間関係が広がるためテスト勉強の際にわからないことがあってもすぐに相談することができることです。また、履修登録ではわからないことや不安なことが多くあるため、相談相手がいることで安心して登録を行うことができます。

## Q 大学に入って成長したこと

効率的に時間を使えるようになったことです。講義が多くあるので、課題が多く出され後でやるうという気持ちでいると提出期限が近くなった際に、混乱してしまうことや、やり忘れることが起きるため空いている時間に効率的に課題を進めようという考えになり、自分から課題に向き合う時間が多くなりました。

## Q 高校生へのメッセージ

大学は、楽しむことができる時間が多くあります。講義で様々なことを学ぶこと以外にもサークルを通し、自分の挑戦してみたいことに時間を使うことができます。また、空き時間には友達と課題に取り組むことができ1つ1つの時間を楽しく過ごすことができます。大学で、貴重な4年間を充実して過ごし、思い出の残る良い経験にしましょう。

## ある日のキャンパスライフ

- 6:00 起床
- 7:00 通学
- 8:40 授業
- 12:00 昼食
- 12:40 授業
- 17:30 帰宅
- 18:30 夕食
- 19:30 課題
- 21:30 アルバイト
- 1:00 就寝







## 音楽分野

本分野の理念は、教育者としての幅広い知識・教養・能力を身につけること、音楽の専門についての研鑽を積むこと、の2点に集約されます。専門科目は音楽教育、作曲、音楽学、声楽、器楽などの領域からなり、主に2年次までは基礎的な学びを、3～4年次には発展的な研究を進めます。そして、卒業研究を成して修了します。

## 美術分野

美術全般の基礎的素養と美術教育の専門能力の育成を目指し、実技と理論の体系的教育を行います。2年次までに美術各領域の導入を、3年次からはそれらを発展的に学び、学生の希望により絵画・デザイン・工芸・美術理論・美術教育から選択して卒業研究に向け専門性の向上に着手します。また、野外写生合宿、古美術研究旅行、作品展、ワークショップなどの諸活動、学生企画の諸行事等を通して充実した4年間を過ごすことができます。

## 保健体育分野

近年の保健体育・スポーツ分野における研究の発展はめざましいものがあり、教育の場ではそうした知見を活かした指導が求められています。本分野は、小学校教員としての資質・能力を獲得するとともに、中学校および高等学校の保健体育科教員に必要な指導力を習得するため、教科指導の基盤となる学問・技能をさらに深く学修し研究します。

## 家政分野

家政分野では、家庭経営、衣生活、食生活、住生活、保育、消費・環境、家庭科教育等の講義、実験、実習、セミナー、卒論の専門教育により、小学校、中学校、高等学校の家庭科の教員を養成することを目的としています。生活者の視点から生活を総合的にとらえ、持続可能な社会の構築、生活の質的向上、人類の福祉に貢献する担い手づくりに資する教員を目指したい人を歓迎します。





学生インタビュー  
芸術・生活・健康系 美術分野 2年生

## 吉澤 有真さん

### Q この学部を選んだ理由

栃木県の教員になり、地元で活躍したいという思いがあり選びました。宇都宮大学では様々な分野の人と関わることができ、自分の視野を広げることができます。また、群馬大学との授業で宇都宮だけではなく、群馬県の実態なども知ることができるため、様々な知識が身につくと考えました。

### Q この学部に入ってよかったこと

自分の専門としている科目以外のことや、様々な学生と交流を持つことができます。私は美術を専攻していますが、大学の授業では基礎の5教科や教員として必要なスキル、知識を学ぶことができます。また分野の混合クラスで様々な分野の学生と友達になれたり、交流を持てたりして、様々な意見に触れることができます。

### Q 大学に入って成長したこと

一番成長したことは物事のとらえ方です。大学に入ってから、複数の見方をして物事を考えるようになりました。その時に自分の考え、意見はしっかり持って、相手の目線に立ち、相手がどのように考えているのかを分かってほしい、自分の考えを再び考え直したり、自分の中に取り入れたりするようになりました。

### Q 高校生へのメッセージ

まずは高校生活を全力で楽しんでください。楽しいことばかりではないかもしれませんが、今やっていることは必ずどこかで役に立ちます。自分自身の可能性を信じて突き進んでください。大学は面白いところです。いろんな人がいます。様々な経験もできると思います。未来の自分を思い描いてみてください。きっとわくわくすると思います。皆さんが入学してくるのを楽しみにしています。

音楽分野・  
保健体育分野・家政分野の  
学生インタビューはこちら  
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



### ある日のキャンパスライフ

- 5:30 起床・身支度
- 7:00 通学
- 8:40 授業
- 12:00 昼休み・昼食
- 12:40 授業
- 17:00 サークル(アルバイト)
- 19:00 夕食
- 20:00 課題・自由時間
- 23:30 就寝



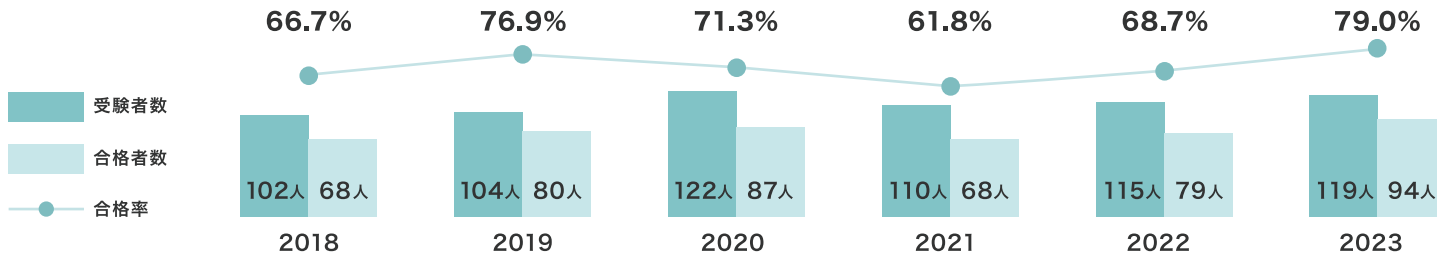


# 教員就職実績

共同教育学部4年生の教員採用試験の校種別合格状況(2023年度実施 他県・私学含む)

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
受験者	67	38	8	6	119
合格者	54	29	5	6	94
合格率	80.6%	76.3%	62.5%	100.0%	79.0%

共同教育学部4年生の教員採用試験の合格の推移(他県・私学含む)



## 共同教育学部で取得可能な免許一覧

課程	系	分野	小学校一種	中学校一種	高等学校一種	特別支援学校一種	幼稚園一種
学校教育教員養成課程	教育人間科学	教育	◎	○教科は各自選択	○教科は各自選択	○	○
		教育心理	◎	○教科は各自選択	○教科は各自選択	○	○
		特別支援教育	○	○教科は各自選択	○教科は各自選択	○(※)	○
	人文社会	国語	◎	◎国語	○国語	○	○
		社会	◎	◎社会	○地歴・公民	○	○
		英語	◎	◎英語	○英語	○	○
	自然科学	数学	◎	◎数学	◎数学	○	○
		理科	◎	◎理科	◎理科	○	○
		技術	◎	◎技術	○工業	○	○
	芸術・生活・健康	音楽	◎	◎音楽	◎音楽	○	○
		美術	◎	◎美術	○美術・工芸	○	○
		保健体育	◎	◎保健体育	◎保健体育	○	○
		家政	◎	◎家庭	○家庭	○	○

◎…卒業要件で取得が可能な免許種

○…卒業要件に加え、必要な科目(実習を含む)の単位を習得することで取得可能な免許種

※卒業要件で「視覚障害者、知的障害者、肢体不自由者または病弱者(身体虚弱者を含む)」の4領域の免許取得が可能です。

さらに必要な科目を修得することで、5領域全ての免許取得が可能になります。

## 令和7年度の入学者選抜について

系	分野	一般選抜(前期日程)					総合型選抜A(一般)					学校推薦型選抜	
		共通テスト	個別学力検査等				講義レポート作成 ※1	小論文	基礎能力試験	面接	グループディスカッション実技	面接	小論文
教科	面接	小論文	実技検査	×	×	×							
教育人間科学	教育	○	×	○	○	×	×	×	×	○	※3	○	○
	教育心理	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×		
	特別支援教育	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×		
人文社会	国語	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○
	社会	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×		
	英語	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×		
自然科学	数学	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○
	理科	○	×	○	○	×	×	×	×	○※2	×		
	技術	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×		
芸術・生活・健康	音楽	○	×	○	×	○	×	×	×	○	※4	○	○
	美術	○	×	○	×	○	×	×	×	○	※4		
	保健体育	○	×	○	×	○	×	×	×	○※2	×		
	家政	○	×	○	×	○	×	×	×	○※2	×		

入学者選抜についての詳細は、令和7年度入学者選抜要項(2024.7月公表)にて確認してください。

※1 教育に関する今日的課題についての講義動画を視聴し、講義内容の要点と与えられた課題に関するレポートを作成する。

※2 個人面接の時間内でプレゼンテーションも行う。 ※3 グループディスカッションを行う ※4 実技試験を行う